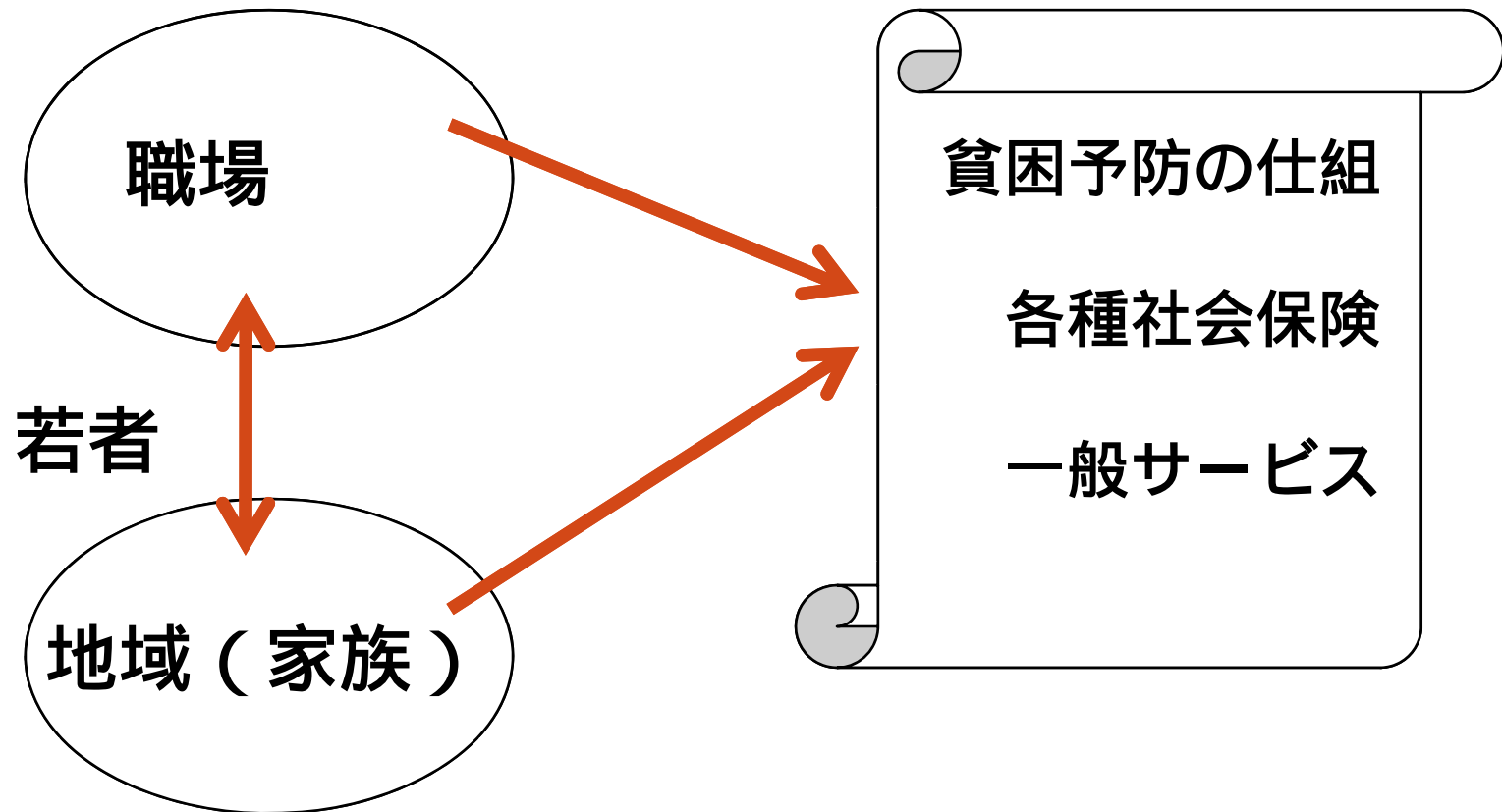


労働政策フォーラム：若者問題への接近
家族と福祉から排除される若者

日本女子大学
岩田正美

若者の貧困と福祉国家



(貧困の事後的救済は、基本的には若者は想定していない)

若者の長期失業や非正規労働

- 欧米では80年代以降若者の長期失業
- 職場を通じた福祉国家の予防ネットワークからの排除 貧困やホームレス問題
- 若者への救済策はほとんど用意されていなかった
(若者は稼働能力があり、職を得やすい)
- 若者の貧困への対応の新たな模索 若者むけ公的扶助 + 就業訓練など。

日本の場合

家族の強さの程度
(パラサイト)

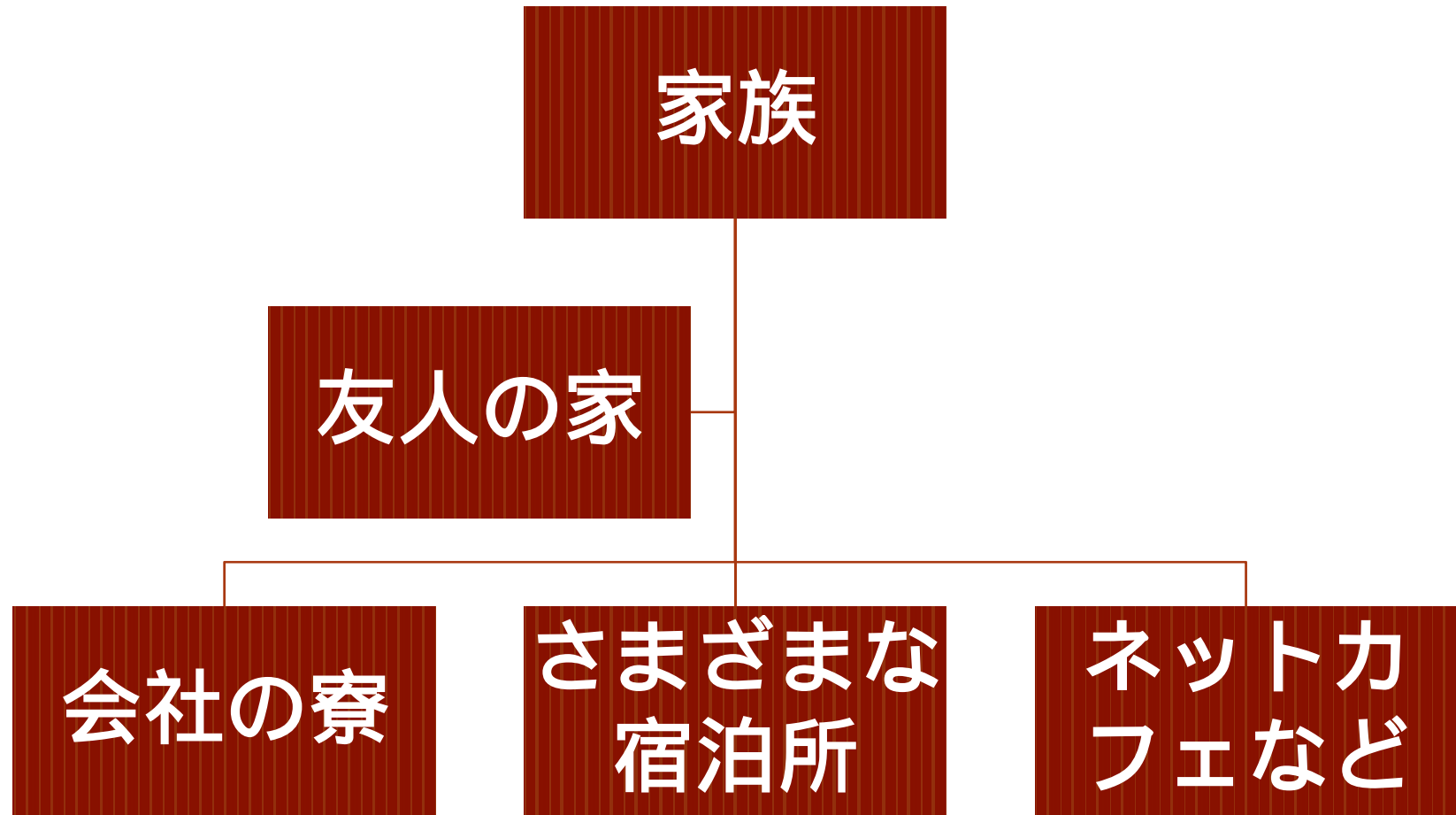
(単身化)

家出

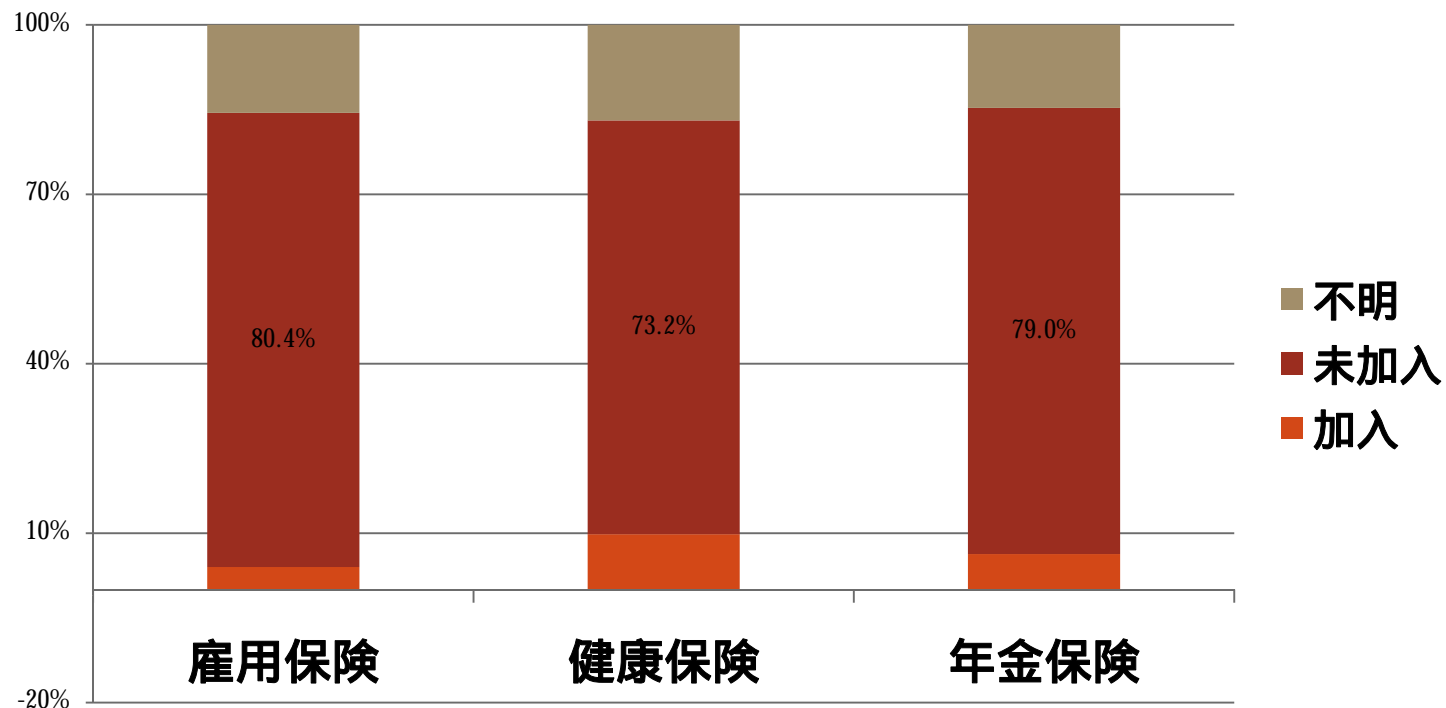
地域移動

放逐・解体

家族から離れた若者はどこへ行くのか



単身化した非正規労働者と貧困予防 ネットカフェ生活者の社会保険加入（東京）



厚生労働省調査 2007

なぜ予防の制度から落ちてしまうのか

- 非正規雇用労働者の保険カバー率が低い
- 若者も制度を敬遠
保険料が高い
生活費や住宅費に追われる
地域職業移動のたびの手続きの煩雑さ
- 家族との関係の悪化による単身化のため家族経由が閉ざされる（一部継続）
- 雇用保険や労災保険の保障の限界
- 非正規なのに企業に取り込まれている（寮）

日本における若者貧困救済策

- **若者の貧困は中高年より注目されている！**
- **ただしあくまで雇用者対策の枠**
- **自立訓練からスタート**
- **雇用対策へ付随する形での生活・住宅政策へ**
- **住宅は企業の寮からの排出のみに焦点**
- **貸付が基調**
- **臨時的対応**
- **生活保護などの対応は疾病や障害の場合のみ**
- **家出の若者にまで住宅保障か？という違和感**

生活保護や福祉政策からの排除

福祉制度 = 「弱者」という枠組みの強さ

- 年齢制限のない生活保護だが、稼働可能な若年層には違和感
- 家族がいれば家族扶養を優先
- 支援者らによる「軽度障害者」論
- 社会にきちんと組み込まれた経験のない若者支援の難しさ ゴールのイメージの希薄さ
- 女性は婦人保護の枠組み

第2のセーフティネットが必要か？